

焼芋の焼き上がる前狙い付け

寒月の残りし朝のバス停に

野水仙揺れ遠山を景にして

勝利

鳥居には旧き町名初詣

光子

三極の一枝細く凍ててをり

戎笹掲げ珈琲店に入り

潮風にゆるる提灯初恵美須

つかと来て鈴鳴らしゆく仕事始

待春や味覚戻りし舌の先

佳与子

寒禽のひと声啼きてそれつきり

真理子

行く年や感謝の心忘れまじ

我ひとつ君ひとつ今日寒卵

若夫婦ピアノの上の鏡餅

寒晴や回転木馬動きだす

絵双六ばさばさ広げ始めけり

節子

焦らずとも願ひ叶ふと初みくじ

由紀子

餅花の赤白に赤飾り窓

寒の水足し鍛錬の墨を磨る